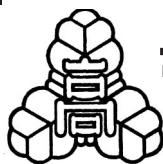


学校紹介



宮城県石巻高等学校



1. 学校の概要（沿革，環境，施設等）

北上川の河口に臨む丘陵，名勝日和山に続く「南鰐山」の一角にあり，周囲は閑静な住宅街で，近隣には官公庁や学校が点在しています。校舎から南側眼下に太平洋の大海原を見下ろし，東方はるかに霊峰「金華山」がある景勝の地に位置し，校内には緑が多く，桜をはじめ四季折々の花木が心を和ませてくれます。また，広いグラウンドが2面あり，体育や部活動で生徒たちの活気で満ちあふれています。同窓生が，誇りと愛校心を込めて，母校を「鰐陵」と呼び親しんでいる本校は，大正12年「宮城県石巻中学校」として開校されて以来，石巻地区の拠点校として各方面に有為な人材を多数輩出しています。

2. 本校の教育方針

「高い英知と豊かな情操を養い，不屈の意志と自主自律の精神に充ちた，心身ともに健全な調和のとれた人格形成を図る」ことを教育の目標とし，校訓として「真実・自律・友愛」を常に掲げています。また，「質実剛健・進取独創・自ら進運を開拓すべし」という生徒心得綱領が古くから語り継がれ，自由闊達な気風がみなぎっています。自主・自律を尊ぶ校風が受け継がれ，生徒の間では学年を越えた健全で明朗な友情を育んでいます。また，服装については，社会的常識を逸脱しない，

良識ある服装であることとし，各自の判断に任せています。

教育方針としては

（1）あらゆる指導を通して，高い英知と豊かな情操と不屈の意志を育成し，高朗爽快な気風を馴致する。

（2）教科指導を徹底し，自主的な学習意欲と探究心を喚起し，学習の充実を図る。

（3）信頼と友愛による人間関係を確立し，公德心および自尊尊重の精神を涵養する。

が，掲げられています。

3. 本校の教育課程の特色

本校では，多様な進路の希望や各大学の入試・選抜方法等に対応できるように配慮して教育課程を編成しています。1年生では特に基礎基本を重視し，偏らない学習ができるよう芸術を除いた科目は全て共通履修としています。特に国語・数学・英語に十分な時間を配当し，全員が基礎的な学力が身につくようにしています。平成24年度入学生から2年生で，文系・理系のいずれかの累計を選択し，理科，地理歴史については，各自の興味や関心等に応じて選択できるようにしています。3年生においても，文系・理系のいずれかの類型を選択し，各自がそれぞれの進路に応じて学習できるようにしてあり，理系では数学・理科の学習が十分確保できるように重点的に時間を配当してあります。

また，夏季・冬季休業中はもちろん，平常の授業日にも課外授業を実施し，生徒の学力の伸長に努めています。

4. 本校の行事・生徒会活動・部活動

生徒会の活動は，生徒会総務や代議員を中心に運営されています。特に球技大会・体育祭・文化祭等は生徒会を中心に生徒自らがその企画・運営にあたり，毎年盛大に開催され，名物行事になっています。

部活動も活発で，全校生徒の9割近くが何らかの部活動に所属しています。運動部では，甲子園

に出場した経験のある硬式野球部、過去4回花園での全国大会に出場したラグビー部、毎年のように東北大会やインターハイに出場しているヨット部やウエトリフティング部、陸上競技部、ボート部などがあります。また、学芸部では将棋部、美術部、書道部が全国大会に出場するなど、どの部も活発に活動しています。

5. 本校の進路指導

(1)「進路指導計画」

学年毎の年間進路指導計画を詳細に記述した「進路学習シラバス」に基づき、3年間を見通した計画的・組織的な進路指導を行っています。

(2)「新入生学習オリエンテーション」

新たに平成18年度から英数国の3教科で実施。4月入学後最初の週に行い、予習・復習・ノートの作成の仕方など高校での学習方法を、実際の授業の形式で身につけてもらいます。

(3)「進路に関するホームルーム」

「進路ガイダンス」の実施、「進路ノート」を使った様々な将来設計等の進路学習や進路に関するLHRの充実を図っています。

(4)「課外講習」

長期休業中は全学年で、3年生は6月から2月下旬まで授業日の放課後にも実施。2年生も10月から週3回英数国+「化学」の4教科で実施しています。

(5)「小論文指導」

「小論文委員会」を組織し、年数回、小論文の指導を実施しています。3年生には小論文委員会を中心に個別指導を行い、実際の入試に対応し、「小論文模試」や外部講師による「小論文講習会」等も実施しています。

(6)「学習合宿」

希望者対象に3年生は夏休み、1・2年生は冬休みに実施しています。外部の施設に宿泊し、自学自習を中心に長時間の学習体験をすることで、自発的な学習習慣を身につけることが目的です。また、外部講師の集中講義も取り入れており、学力の向上を目指しています。

(7)「朝自習」

朝のホームルーム前の10分間を使って全校生徒が朝自習に取り組んでいます。

(8)「進路講演会」

各学年の段階に応じて様々な講演会を実施しています。各学年ごとに進学意識の高揚を図るために外部講師による「進路講話」、他に、1・2年生に対して社会人による「職業講話」と東北大学などから講師を招いての「大学模擬講義」を実施しています。また3月中旬には3年生の「合格体験発表会」も設けています。さらに保護者向けの「進路講演会」を実施し、好評を得ています。

(9)「大学見学会」

早期における進路意識の向上を目的として1年生は全員参加で「東北大見学会」を実施しています(2・3年生は希望者)。その他、希望者を対象として「岩手大見学会」「福島大見学会」「宮城教育大学見学会」「山形大学見学会」「宮城大学見学会」等を実施しています。

(10) 石巻地区で「センターリハーサルテスト」

平成15年度から、実際にセンター試験が行われる石巻専修大学を会場にして、ほぼ本番と同様の時程で「センターリハーサルテスト」を実施しています。

(11) 進路通信「進運」

進路指導部では進路通信「進運」を学年別に月1～2回程度発行しています。最新の入試情報や、模擬テストの結果等を載せ、進路意識の高揚を図っています。

(12)「進路指導室」を整備

各大学の最新の資料や過去の入試問題・解答等は自由に閲覧可能です。進路指導部教員が常駐し、気軽に質問することができます。生徒用のパソコン5台を設置し、自由にインターネットで情報を得ることができます。その他FAX、テレビ、ビデオデッキ、DVDプレーヤーなどが設置され、生徒たちは必要に応じて自由に利用しています。

(13)「土曜日」を効果的に活用

模擬試験、外部講師による小論文講習会などに加え、平成18年度から1・2年生の希望者を対

象とした「土曜学習会」を行っています。

6. 本校の数学教育

本校では、ほとんどの生徒が進学希望ですが、幅広い学力層の生徒が入学していることから、数学では、1・2年生で習熟度別授業を、3年生では群選択授業を行っています。

(1) 1年生(習熟度別授業)【数学A(3単位)】

1年生においては生徒の学力に応じて、2クラスを3クラスに分け、習熟度別授業を行っています。

●応用クラス(1クラス)…教科書レベル+大学入試問題レベルの問題にも対応できることを目標とした内容の授業

●標準クラス(2クラス)…教科書レベルの内容を正確に理解することを目標とした内容の授業

(2) 2年生(習熟度別授業)【数学Ⅱ(2単位)】

2年生においては、生徒の学力に応じて、2クラスを3クラスに分け、習熟度別授業を行っています。

●応用クラス(1クラス)…教科書レベル+大学入試問題レベルの問題にも対応できることを目標とした内容の授業

●標準クラス(2クラス)…教科書レベルの内容を正確に理解することを目標とした内容の授業

(3) 3年生(群選択授業)

3年生においては、理系の数学Ⅲを除いて、自らの進路希望において必要となる科目を、群選択授業から選択する形式で実施しています。

【文系】

●B群・D群：数学Ⅱ(2単位)

センター試験で数学を受験する生徒を対象としたセンター試験対策の授業

●E群：数学B①(2単位)

センター試験で数学を受験する生徒を対象としたセンター試験対策の授業

●E群：数学B②(2単位)

文系難関大学への進学希望者を対象とした二次試験対策の授業

【理系】

●G群：数学C(2単位)

理系大学進学希望者を対象とした授業

●G群：数学B(2単位)

理系大学進学希望者で数学Cを必要としない生徒を対象とした二次試験対策の授業

7. 震災の影響と復興状況

本校は高台にあり、東日本大震災の津波による被害はありませんでした。また、地震が起こった時間帯は授業中であり、学校にいた1・2年生の生徒と勉強をするため来ていた3年生は無事でした。学校にいなかった3年生の生徒の安否が心配されましたが、幸い全員無事でした。

震災後、本校のトレーニング室、武道館、鰐陵会館(同窓会館)が避難所となったため、学校が再開してからもそれらの施設が使用できず、一部の授業や行事が行えないなどの影響がありました。また震災当初、避難所や親戚宅から登校しなければならない生徒も多く、通学手段となる電車も不通であり、代替のバスもどうなるか不透明でした。そのため、学校が再開すると決定した時には本当に登校できるのか非常に不安でした。

しかし、職員・生徒・保護者、地域の人達の協力のもと、この苦境を乗り切りってきました。

今年度は一部の行事が中止になったり、様々な課題はありましたが、球技大会、体育祭、文化祭などの行事や大学見学会や模擬試験などの進路行事などは例年同様実施し、無事に学校を再開することができました。被災している生徒も学校の再開を喜び、明るく登校してきてくれ、その姿に我々職員も非常に元気づけられました。

現在では避難所にいた生徒も仮設住宅やアパートに移り、まだまだ大変な状況に変わりはありませんが、そこから電車やバスで登校しています。本校もすべての施設が使えるようになり、以前と同じ状態に戻つつあります。

これまで、多くの方々から様々な物資や励ましのメッセージなどをいただき、非常に勇気づけられました。心から御礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

(文責 宮城県石巻高等学校教諭 古内尊彦)